

6

その他

6-1 景観との調和

6-2 維持管理

6-1 景観との調和

サインは、都市の景観要素の一つであり周囲の環境と調和することが重要となる。一方、情報の提供拠点として利用者にその存在を顕示することも必要となる。

サイン整備においては、この景観調和と顕在性バランスに配慮し、サイン本来の機能を逸脱したり、公共空間の質を支える要素としてふさわしくない、行き過ぎた表現や過度の装飾性は慎むことが重要である。

景観調和を図る手法としては、景観調和と対比調和の二通りの方法がある。

●景観調和

サイン本体は、情報表示部分を物理的に指示するためのものであるから、この意味では存在を見せる必然性は弱い。したがって、本体の存在感を感じさせない造形の工夫や、彩度を落とした塗装色等によって周辺と調和させることができる。

●対比調和

本体デザインや鮮やかな本体カラー等を、周囲とのバランスを意識した上で取り入れ、目立たせることにより、サインを顕在化させることができる。また、街並みを整えたり、地域に不足している景観要素を付加することも可能である。

一般に、周囲に溶け込み存在を誇示しない景観調和は、コンセンサスが得られやすい。しかし溶け込み過ぎるとサインがどこにあるのかわかりにくくなる可能性がある。

一方、対比調和は、景観にアクセントを与え、積極的にまちづくりに関わる方法として有効である。しかしやり過ぎると景観の阻害要素となる場合もある。

いずれも、計画地域の特性と調和の効果を吟味し、歴史的な背景があるなど、その効果が高いと見込める場所等において、手法を適宜、選択していくことが重要である。



彩度を落とし周辺環境と調和したサイン



鮮やかな色彩で景観にアクセントを与えるサイン

6-2

維持管理

6-2 維持管理

屋外に設置するサインは、年月の経過とともに、破損や老朽化が進む。はり紙やいたずら等への対応も必要である。また道路の整備や施設の建替え等で、都市の様子は常に変化している。サインは都市の情報を伝える重要なメディアであり、正確な情報を伝えるための定期的な情報内容の維持管理も必要である。



貼り紙

01 サイン本体の維持管理

●清掃

定期的な水拭きで汚れやホコリを落とす。水拭きで落ちない汚れには中性洗剤を使用する。また違法なはり紙や落書きを定期的に取り除くことも必要である。

●保守点検と補修

ボルトのゆるみや傷、塗装のはがれを点検し、必要に応じて補修を行う。近年ではシート貼りの表示面が増えており、シートの剥がれや退色への対応も必要である。その他腐食や照明器具の点灯不良の確認および補修も必要である。



貼り紙跡



塗装の剥がれ

02 サインの情報内容の維持管理

定期的な情報内容を見直し、必要に応じて更新を行う。管理者は新たにできた道路や施設等を追加し、表示面の変更を行わなければならない。部分的な修正の場合は、修正用のシートを表示面に重ね貼りするが、退色が著しい場合や、変更修正箇所が多い場合は、表示面の全体を取り替える必要がある。